

もっといるんじゃない？ 北海道の繁殖鳥類 — ジョウビタキとオオムシクイの繁殖確認調査 —

鳥類繁殖地として北海道を考えてみたら

【日本の「最北の地」だけど日本全体の1/5でもある北海道】

北海道は日本の北端ですから、南から渡ってくる鳥にとって最も遠いところ。でも面積は広いし、ハシブトガラ／ヤマゲラ／など「大陸には普通」の鳥が、国内では北海道だけに分布してます。カモ類の一部のように、一般的には冬鳥でも、北海道ではわずかに繁殖している場合もある。そう考えれば、北海道で繁殖している鳥は、もっといるのかも知れません。



【夏鳥の一部は大陸から？】

また、渡りコースが大陸経由と想定されている鳥(シマアオジなど)もいます。道内での夏鳥初認に注目していると、道北や道東の情報が早いことはよくあります。渡りコースが異なる個体群なら、繁殖生態も違いがあるかも知れません。

あの噂は本当か？

【「全国繁殖分布調査」に参加して】

2020年に参加した「全国繁殖分布調査」で、ジョウビタキ／オオムシクイ／などを6月下旬～7月上旬に確認しました。これらの道内繁殖については漠然とした思い込みがあって、あまり特別な結果だと思っていなかったのです。が、確認位置や環境などの問い合わせがあり、改めて重要性に気が付きました。



【過去の調査で分布を確認していたりするけど】

ジョウビタキ繁殖の噂は聞いていたし、過去にほぼ同じ時期にオオムシクイの分布を確認していたなど、思い込みの理由はあります。でも、問い合わせに答える中で既存資料を見直したら、さらに気になる繁殖情報も見つかりました。こうなると、やはり営巣など「より明確な繁殖確認」が欲しい。

【取り敢えずジョウビタキとオオムシクイの繁殖地を確認したい】

2020年の調査結果を活かすためにも、手始めとしてジョウビタキ(*Phoenicurus auroreus*)とオオムシクイ(*Phylloscopus examinandus*)について、営巣の確認を目指します。調査地は、日高山脈。

「手始め」としているのは、この2種の他にも未知の繁殖鳥類や、繁殖地があると考えているためです。北海道における繁殖鳥類と繁殖地の環境等を把握することで、自然環境の保全や保護に資する基礎的な知見を得たいと思います。

それにしても「なぜ今まで確認できていないのか」という疑問

【北海道の山岳地域にある「やや調査が困難」な場所】

北海道には、2000m超は12峰しかありません。でも、雪や寒さはもちろん、登山ルートが十分に整備されてないとか、避難小屋などベースキャンプにできる施設が無いなど、調査するには条件が厳しいところが多いのです。ヒグマも心配だし、日高について言えば、2017年の台風で林道が壊滅。車では登山口まで入れない状況。

今回の調査で注目しているのは、北海道を代表する植生である汎針広混交林の中でも、ダケカンバ／エゾマツ／トドマツ／などからなる上部針広混交林です。標高は1000m前後ですが、5月までは雪が残っている可能性がありますし、雪が消えてもしばらくは足もとがぬかるみ。沢の渡渉も、増水しているかも知れません。アクセスできる時期は限られているので、充実した調査はされていないのではないかと考えています。

【特異な地形にも注目】

植生に加えて、2種の繁殖期分布を確認した日高山脈には氷河地形(カール)があります。これが日高につきものの急登と渡渉の要因であり、面的な調査を厳しくしています。逆に、この地形がもたらす微気象(残雪や河川水温の低下など)もあるので、地形が繁殖環境を形成している可能性を考えています。

【日高山脈の「国立公園化」を考慮】

上記のような「調査の難しさ」はあるのですが、日高山脈は国立公園に指定される方針が示されており、地域生態系の現状を正確に把握することは、喫緊の課題と考えています。ジョウビタキとオオムシクイの繁殖確認を軸に、登山道整備や利用制限の検討に資するものとして、繁殖鳥類の生態把握に努めます。

2021年シーズンの取り組みの具体化

【日高山脈におけるジョウビタキとオオムシクイの繁殖生態を確認する】

- ・ ジョウビタキとオオムシクイの営巣または巣立ち幼鳥を確認する
- ・ 両種の分布量を把握しテリトリー内の植生など環境特性を整理する
- ・ 現地調査 3回程度(6月上旬／6月下旬／7月上旬／を予定)

【上部針広混交林を中心に鳥類分布の概要を把握する】

- ・ 上部針広混交林とその周辺において繁殖期の鳥類相を把握する
- ・ ジョウビタキとオオムシクイの調査地点のほか、リファレンス地として日高山脈内でもカールの規模や方向などが異なる地点、道内の他地域(東大雪や天塩など)を検討し、鳥類相を把握する
- ・ 現地調査 各地で2回程度を予定

【調査結果の取りまとめ】

- ・ ジョウビタキ繁殖調査結果／オオムシクイ繁殖調査結果
- ・ 各地鳥類相の概要把握結果に基づき「北海道繁殖鳥類調査」として継続調査の方向性を示す

調査名: ジョウビタキとオオムシクイの繁殖確認調査

調査者: 土屋 尚 (Eureka!北海道)

調査地: 日高山脈 (ほかりファレンス地点を検討中)

* 現地調査や情報提供にご協力いただける方、募集中です。

(以上)